

中町防災会(檀原市)

項目	内容
世帯数・人口	
◇世帯数	140世帯(平成26年10月1日現在)
◇人口	336人(平成26年10月1日現在)
◇内65歳以上人口(高齢化率)	73人(21.73%)
地域の特徴	
◇まちの特徴	まちの西側は住宅地であり、東側には農地が広がっている。住宅地域は、旧集落とその西側に隣接する新開発住宅地で構成される。また、まちの北側を寺川が貫流している。
◇過去の災害、想定される災害	平成10年8月27日、1時間最大雨量66mmの豪雨により桜井市領域の寺川の左岸堤防が決壊し、浸水が起こった。第2次奈良県地震被害想定では最大震度7が想定されている。

設立年月日	平成12年6月1日
設立のきっかけ	過去に何度か家屋火災を経験しており、自主的な防災活動を行なうことで、災害による被害を防ぎ、あるいはその軽減を図るため。
目的・キャッチフレーズ	住民同士の《絆》を大切に、住民の隣接共同並びに相互扶助精神に基づいて活動する。
予算規模	約12万円(自治会より約5万円、市より約7万円)
主な活動内容	
◇防災活動	新中町防災会・十市団地との合同での防災訓練。避難訓練や放水訓練のほか、8種類の体験型訓練を実施するなど、全ての住民が当事者として参加できる工夫を凝らしている。また、地域防災力向上のため、地域交流を盛んに行っている。
◇防災と一体的にとりくんでいる活動(防犯・美化・福祉など)	大和川水系の清掃、花壇の整備の他、寺川わんわんパトロール隊による防犯・美化活動など。
◇その他特徴的な活動	防災活動に活用可能な機材を有する職人が多い地域であることを活かし、それらの機材がどこにあるかを示したマップを作成し、非常時の貸し出し体制を作るなど、地域住民が協力し防災体制を整えている。
主な連携先(行政・学校・企業・近隣の団体など)	檀原市消防団第4分団 新中町防災会 十市団地防災会 中町壮年会

プロフィール

中町

世帯数 140世帯

町の特徴

町内にある阪門神社を中心とした旧集落と、その西側に隣接する小規模開発の住宅地で構成される小さな町です。

町の中心の阪門神社は延喜式神名帳に記載されている「式内社」で、平安時代(10世紀)にすでに官社として認定されていた由緒ある神社であり、この阪門神社では8月に七夕祭り(宮ごもり)、10月に秋祭りがあり、特に秋祭りは盛大で町民同士のコミュニケーションのきっかけづくりになっています。

中町防災会

平成12年6月1日 設立

中町壮年会のメンバーが主になり、防災訓練のほか寺川清掃等ボランティア活動にも参加しています。

中町・新中町・十市団地防災会には県の防災リーダー研修会を受けた防災士が7名おり、活動を助けております。又、防災会顧問の、元消防士・現大阪市消防局災害活動支援隊メンバーの高嶋一巳氏から指導を受け訓練しております。

平成20年の第1回中町合同防災訓練の様子は、「人のつながりが町を守る、安全・安心まちづくり」と題して、奈良県・生活情報BOX、くらしと安全で取り上げられております。

〈平成20年12月奈良テレビで放映〉

防犯に関しては、合同で年末夜警「火の用心」巡回等行っております。

また、この地域は地理的に互いに隣接しており、自治会などの枠を越えた、寺川わんわんパトロール隊があり、わんちゃんの散歩時に同じ腕章をつけて散歩することで、飼い主同士のコミュニケーションを深めています。

今回の合同防災訓練の目標

見学者 0% 体験者 100%

避難誘導訓練

一時避難の時点での迅速な避難者数の確認を行うこと

- ・事前に各世帯の人数を確認しておき、当日の避難者数から避難していない人、避難できなかった人の把握。
- ・実際の災害に備えて、その時点の班長が班長自身の判断で集合場所を決め、一時避難所まで誘導する（中町本村）

防災対策体験訓練

昨年からの継続で、訓練参加者が見学者にならないように、すべての人が防災対策を体験できるようにすること

- ・今回は8つの体験コーナーに想定訓練コーナーを設ける
災害時を想定して体験コーナーで得た知識を応用してみる。
- ・各コーナーの担当者はスムーズに指導できるように担当対策のマイスターになるように心がける。

体験コーナー

通報訓練・ロープ結索・応急担架・体温管理・ホース延長・水防工法・初期消火
救急応急処置
バケツリレー

炊き出し訓練(新中町自治会・新中町防災会)

- ・防災会で購入した調理器具を使用するので操作方法など確認すること
- ・今回から会場を中池の防災対策体験訓練会場に移し、炊き出し訓練を合同で行う。
(炊き出し訓練は両住民の交流の場になっています。)

防災訓練案内

第7回近隣地区合同防災訓練

(本村&新中町&十市団地)

平成26年11月9日(日)

時間 8:30~14:00

※ スケジュールが多少変わる場合がありますので、ご了承下さい。

同じ町内で自治会(防災会)が連携して安全で安心なまちづくりをしていくために、今年も、合同防災訓練を実施いたします。本村と積水団地が持っている「地域力」(知識、ノウハウ、人材等)をお互いの強みを活かして、両地域住民が集まり、避難訓練、参加型体験訓練を実施して、炊き出し訓練で作った『豚汁』とおにぎりをみんなでわいわいとお話しながら食べたいと思います。皆様、お時間の許す限りご参加ください

[第1部] 避難誘導訓練 (小雨決行)

<時間> 8:30~9:30

<集合場所>各班指定場所 → <避難場所> 中池

※避難誘導訓練の詳細内容については「別紙」参照

[第2部] 防災対策体験訓練 (小雨決行)

<時間> 9:30~11:30

<場所> 中池

- 参加して体験できる訓練を下記の8コーナーを設け、今回は基本訓練に加えて、災害時を想定した想定訓練を行います。本村と新中町の防災会メンバーが各コーナーのスタッフとなり参加されたみんなと一緒に、もしかの時に備えてどうしたらいいかを体験しながら、参加者とコミュニケーションをとり防災力の向上を目指します。

① 通報 ②ロープ結索 ③応急担架 ④体温管理 ⑤ホース延長
⑥水防工法(土嚢) ⑦初期消火 ⑧救急応急処置

消防ポンプ使用して行なう放水訓練 恒例・全員バケツリレー

[第3部] 炊き出し訓練 (小雨決行)

<時間> 11:30~14:00

<場所> 中池

- 豚汁150食分とおにぎり150食分を調理します!

今年は公民館を使用しないで、中池横の(株)ミズホの駐車場をお借りして炊き出し訓練をいたします。炊事施設の無い不便な場所で緊急時を想定して行ないます。

※防災訓練にご興味のある奈良県内の自治会、団体等へPRしていきます。そのため、招待客が来られますので、訓練場所への誘導等ご協力よろしくお願ひします

避難誘導訓練 実施要領

「避難誘導訓練」は住民の皆さんの防災意識の高揚と、災害発生時の避難行動のシミュレーションを実践することにより、いざというときに「どうすればいいのか？」を気づくために体感訓練を実施いたします。この機会に、一度、ご家族で、もしかのとき避難するには、どうするか話し合ってみてはいかがでしょうか？

実施日：11月9日（日）（小雨決行）

時間：8時30分から

集合時間：9時00分から

集合場所：各班指定場所
※ 班長（リーダー）の点呼を受けてから中池へ避難

避難場所：中池（東側公園）

避難誘導訓練手順

① 8時30分 地震発生（訓練）



- ・防災サイレンが鳴る！（約1分間）
- ・防災会役員が指定集合場所で「避難訓練開始」の「お知らせ巡回」始める！

②サイレンの音を聞いたら落ち着いて
各家庭で「火の元」、「施錠」を確認



③ 9時に指定集合場所へ集合
「非常持ち出し袋」を携行、玄関の施錠も忘れずに！



④ 集合場所で班長（リーダー）の点呼を受ける



⑤ 班長（リーダー）の指示で誘導訓練へ

- ・ 集まり次第、中池へ避難する！
- ・ 班長（リーダー）は中池で避難状況確認連絡カードを本部防災会情報班に渡して下さい。

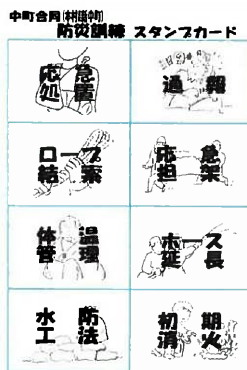
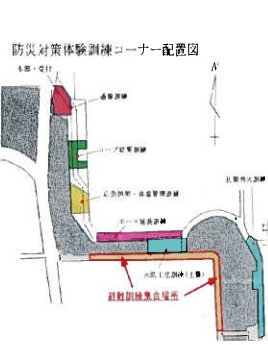
今回で6回目となる「避難誘導訓練」を実施いたします。スケジュール通りに進行できないかもしれませんが、継続して訓練を実施して体験することで、防災力がついてくるかと思えます。

参加者がいてこそ訓練ができます、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

全員参加の 防災体験訓練

第2部 防災対策訓練

八つの体験コーナー



- 通報訓練コーナー
- ロープ結策コーナー
- 応急担架コーナー
- 体温管理コーナー
- ホース延長コーナー
- 水防工法コーナー
- 初期消火コーナー
- 応急処置コーナー

参加者はスタンプラリーで各コーナーを回り、各ブースの指導は防災会顧問・元消防士の高嶋一巳氏の指導を受けた中町・新中町の防災会のメンバーが担当しています。

第2部 防災対策体験訓練

① 通報体験コーナー

「火事や〜っ！ だれか119番してえ〜〜！」

模擬電話を使って119通報を行う訓練



通報すると・・・別場所でも子機を持った防災会のメンバーが消防署員になって対応します

第2部 防災対策体験訓練

②ロープ結策体験コーナー

ロープによる結節、結合、結着等を体験する訓練



第2部 防災対策体験訓練(中池)

③応急担架体験コーナー

毛布、物干し竿等を利用して担架を作成し、傷病者を運び出す訓練



第2部 防災対策体験訓練

④体温管理体験コーナー

毛布1枚を使って身体の保温管理を体験する訓練



第2部 防災対策体験訓練

⑤ホース延長体験コーナー

ホースの延長と結合並びにホース収容法を体験する訓練



第2部 防災対策体験訓練

⑥水防工法体験コーナー

土嚢袋を活用して土嚢の作り方・積み方を体験する訓練



第2部 防災対策体験訓練

⑦初期消火コーナー

訓練用消火器を使って初期消火を体験する訓練



第2部 防災対策体験訓練

⑧ 応急処置コーナー

三角巾、代替のタオルや雑誌等身の回りにあ物を使って処置を体験する訓練



全員参加のバケツリレー訓練



ポンプを活用して放水消火訓練

(中町・新中町の女子・男子選抜メンバー)



第3部 炊出し訓練 (新中町自治会館)

アルファー米のおにぎりと猪汁 各150食分 (猪肉12キロ)

